

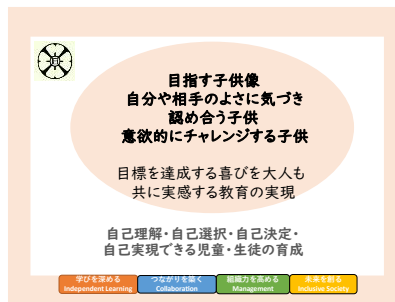


先日はお忙しい中、全校保護者会・学年・学級保護者会に御出席いただきありがとうございました。全校で230名を超える保護者の皆様にお越しいただき、学校全体が活気に満ち教職員と保護者が一体となって、児童・生徒の成長を支える「チーム石神井」の絆を強められたように思います。環境の変化に慣れようとして疲れも出てくる頃です。体調管理に留意しながら教育活動を進めております。今後もしも心配なことやご相談など、お気軽にご連絡をお願いいたします。保護者の皆様のお声をお待ちしております。

今年度の目指す教育について、保護者会での説明スライドを交え少し紹介します。学校では子供たちが失敗を恐れず、チャレンジしたいと思えるような学習を工夫して、子供の素直な「やってみたい」気持ちを引き出せるようにしていきたいと思っております。

4月から各学年・学級で心身の健康を基盤に、集団の中で新たな学びを深めています。

1 学びを深める Independent Learning



食育コーナー
南大泉図書館
(読み聞かせ)



経験を積み重ね、体験活動を充実します

読書活動の推進を継続します



東京都アートプロジェクト展入選作品が描かれています

今年度は、

- ◆週時程を見直し、下校時刻を5分繰り上げました（全校）
- ◆午後の授業時間数を削減しました（小1、小3年）
- ◆新教科の設定や一部の教科書を変更しました

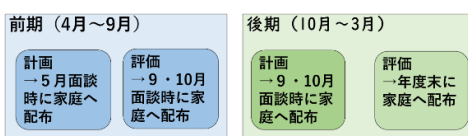
【生活】（小4～6年新設）

【理科/社会】（中1～3年新設）

- ◆中3年修学旅行は2泊3日にしました

個別指導計画について

石神井特別支援学校における個別指導計画の作成・評価の流れ



・学習指導要領の内容を年間指導計画として作成し、その内容を見直し、一人一人の指導目標、指導内容及び指導方法を明確にして具体化したもの。

5月18日から22日まで個別面談を行います。学校生活支援シート及び前期の個別指導計画を基に、ご家庭での様子や学校へのご希望なども直接お伺いし、よりよい指導や支援へ活かせるようにしてまいります。ご協力をお願いいたします。

4月1日から、16歳以上の自転車運転者に対して「青切符」制度が導入されました。先日の保護者会で、保護者の方から「小学生以上との二人乗りが違反対象になるが、どのように対応したらよいか。」という御質問をいただきました。これを受け、本校の防災安全委員会でも関わりのある石神井警察署の方へ、「小学生以上でも、自分で自転車に乗ることが難しかったり、安全管理をすることが十分できなかつたりする場合もあり、保護者から制度についての不安な声が上がっている。」という内容をお伝えし、交通課へも情報提供していただきました。青切符制度が始まったばかりで、御不安のある保護者の方もいらっしゃると思います。何か心配なことがある場合は、副校長までお知らせください。 副校長 草野 潜

令和8年度はスクールバス13台で児童・生徒の登下校を支えています。全てのバスがスムーズに入れるようにするために、小型車1台はグラウンド側の門から入ってきています(下校時は正門から出ていきます)。

1台のバスに乗車できる人数は決まっているためコース取りを大きく変えたバスがあったり、バスの大きさが変わったり、慣れていた乗務員から新しい人に替わることで所要時間や対応の仕方が変わったりするなど、年度当初のバスの運行にはお互いが慣れるまでの特有の難しさがあります。そこで例年、コースの現状を鑑みて改善を図るための方策を乗務員(やバス会社)と相談し、お子さんが慣れるまでの間、乗車時に保護者に座席まで行っていただく、添乗員が覚えやすく動きやすいように一定期間乗車の順番を決めさせていただくなど、保護者の方々にはいろいろな形で御協力をいただいています。停留所での譲り合いの御協力もありがとうございます。引き続きよろしく願いいたします。



御利用家庭全てにお知らせしている「スクールバスの利用にあたって」では、雨天時のことについてもお願いさせていただいています。以下、再度御確認ください。

～傘・レインコート等の利用についての確認～ (*防寒具については省いています)

水によるバス車内での転倒を防ぐため、また、持ち物の混乱を防ぐため、次の点の御協力をお願いします。

◇濡れたレインコートは原則脱いでからバスに乗車してください。

お子さんを乗車させた後、保護者の皆様がお持ち帰りいただくようお願いいたします。

デイサービス等で下校時に使用する場合には、ビニール袋に入れて乗務員さんにお預けください。児童・生徒のリュック等に入れさせていただきます。

◇長い傘は児童・生徒を乗車させた後、保護者の方がお持ち帰りください。原則、車内への持ち込みはできません。

デイサービス等で下校時に使用する場合には折り畳み傘をバックの中に入れてください。今後スクールバス安全運行支援もバスに乗車し、車内の様子の把握に努めていきます。どうぞよろしく願いいたします。 スクールバス部担当主幹 竹内 真紀